

## WEEKLY REPORT

### <米山記念奨学会委員会>平田洋一委員長



今年度、米山記念奨学会委員長を仰せつかりました平田です。当委員会は副委員長に中原会員、委員に吉田会員の3名で1年間務めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

米山記念奨学会の目標は日本に在留している外国人留学生に対し、全国のロータリアンの特別寄付を財源として奨学金を支給して新たな人材を育成することです。

#### 【活動計画】

1. 米山記念奨学金事業への会員の理解をはかり、ご協力を頂くために努力をする。
2. 10月の米山月間には会員の皆様に特別寄付のご協力をお願いする。
3. 米山記念奨学金事業への会員の理解を深めるために、歴史を紐解いて米山梅吉翁ゆかりの地を訪ねる（コロナの状況次第）

上記活動計画に、3. 米山記念奨学金事業への会員の理解を深めるために米山梅吉翁ゆかりの地を訪ねる、を揚げましたがコロナウイルスの蔓延により課外活動を行うことが難しいため、今年度は「米山記念奨学金事業への会員の理解を深める」ことの一步としまして、特別寄付が年間どれ位集まっているのか、どのように使われているか、どの国の奨学生が多いのか等を10月の米山月間に発表させていただきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願いたします。

### <会員増強・職業分類委員会挨拶> 鈴木悦朗副委員長



今年度の会員増強・職業分類委員会は、チャーターメンバーである石井新一委員長のもと、副委員長に私、委員にパストガバナー補佐の渡辺敏弘会員、同じくパストガバナー補佐の野村充会員、また入会2年目の八木原清隆会員の5人で構成されています。

RI会長は会員1人あたり1人という目標を掲げていますが、石井新一委員長からは、コロナ禍なので来年7月までに10名の増強という目標が掲げられました。

皆さんご存じのように奉仕と親睦はロータリーの車の両輪であり、会員増強はクラブの活性化のために、また持続可能なものにしてゆくために常に心掛けるべき重要な要素です。会員を増強しやすくするためには、魅力的なクラブである必要があります。来月は会員増強月間です。その第一例会に在籍が永くガバナー補佐も経験された小林弘会員に「ロータリーの魅力」について語っていただき、それを契機に会員増強フォーラムとして、ミニ勉強会を行いたいと思っております。

先日インターネットで『ロータリークラブに入ろう！』という新書を発見しました。高崎ロータリークラブ会員で、第2840地区ガバナー、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員の田中久夫氏の書かれた本で、ごく最近2021年6月に出版されたロータリークラブとは何か大変わかりやすく、読みやすい本でしたので、大川会長、野澤幹事の了承を得て、会員増強委員会より会員の皆様にテキストとして差し上げることにいたしました。

また次週、「会員候補者推薦書用紙」をメールボックスに入れさせていただきます。各会員1人以上ご記入いただき提出していただきたいと思っております。

候補者の皆様には、花見例会や家族例会、講師例会等への参加を促し、オブザーバー参加いただいたりしながら、スムーズに入会できるようにしてまいりたいと思っております。

また、新入会員オリエンテーションをはじめ、フォローをしてゆきたいと思っております。一年間よろしくお願いたします。

《会報編集委員》 関 征啓・小椋伸也・鈴木悦郎・古川 社会奉仕基金 2,080円

Rotary  2021-2022年度

## 国際ロータリー 第2790地区 第13グループ 松戸北ロータリークラブ会報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 80.0%

第2322回 例会 2021年7月28日(水)

- |                |           |           |   |
|----------------|-----------|-----------|---|
| ■国際ロータリー会長     | シェカール・メータ | ■例会日      | - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)              |
| ■第2790地区ガバナー   | 梶原 等      | ■例会場      | - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」                       |
| ■第13Gガバナー補佐    | 織田 信幸     | ■事務所      | - 松戸市八ヶ崎1-11-13 カナリスハイム101              |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 大川 隆永     | ■TEL/FAX  | - 047-711-5950 / 047-711-5910           |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 野澤新之助     | ■Web/Mail | - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

# WEEKLY REPORT

## ＜第2322回 例会プログラム＞

12:30 例会まで各自食事	
13:00 点鐘	大川隆永会長
ロータリーソング清聴 【♪我らの生業】	
13:03 お客様紹介	大川高明会長エレクト
13:04 会長挨拶	大川隆永会長
幹事報告	野澤新之助幹事
13:15 就任挨拶・会員増強職業分類	鈴木悦朗副委員長
13:18 就任挨拶・ロータリー財団	小椋伸也委員長
就任挨拶・米山記念奨学会	平田洋一委員長
13:25 委員会報告	
本日の社会奉仕基金発表	社会奉仕委員会 崎谷延好委員長
ニコニコ委員会	並木幸雄委員長
13:30 点鐘	大川隆永会長



## ＜会長挨拶＞ 大川隆永会長



皆さん こんにちは 先週は、待ちに待った東京オリンピックの開会式が、ほぼ無観客で国立競技場で行われました。皆さんご覧になりましたでしょうか？開会式に先立ちブルーインパルスが競技場の上空に五輪の輪を描きました。雲が多くて分かりずらかったのは残念でしたが、57年前の東京オリンピックを思い出された会員もいらっしゃるかと思います。因みにブルーインパルスは亀有辺りまで飛行していた様です。私なりに開会式を振り返ると、MISIAの「君が代」独唱は安定感があり、選手団の入場行進曲に日本のゲーム音楽（ドラゴンクエスト等）を採用したところは国産というオリジナリティを感じました。また、1824台のドローンとジョン・レノンの「イマジン」が一つの地球となって融合したところは、「最先端技術は平和利用しなければならない」と語りかけている感じ取りました。世論調査によると、このオリンピック開催については約60%が「再延期もしくは中止」と回答しており、意見が割れる中での開催となりました。私自身は、この日の為に5年間頑張ってきた選手やスポンサーを始めとする大会関係者、経済損失等を考えると、開催した方が良かったと思いましたが、一方で飲食店や医療従事者、またコロナウィルスの蔓延防止という観点から考えると当然に中止した方が良かったと思いましたが、「やった方が良かったのか、中止した方が良かったのか」常にモヤモヤとした気分で、どちらが正しい選択なのか判断が付きませんでした。ロータリアンの中でも「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」「4つのテスト」に照らし合わせると開催することについて素直に喜べない方もいらっしゃるのではないかと思います。ところが開会式の終盤に国民に夢を与え続けてきた永遠のヒーローである長嶋監督が会場内の聖火ランナーとして登場した途端に、私の心の中にあつたモヤモヤとした感覚は一気に吹き飛びました。夜中の12時近くになって、禁じ手でもある長嶋監督が登場するのは少しズルいという思いもありましたが、それと同時に、もし延期や中止をしていたら、このシーンは決して見る事は出来なかったのだらうと思いました。チームメイトであり、良きライバルでもあった王さんが聖火のトーチを握り、教え子だった松井が長嶋監督を支えゆっくりと少しづつ歩いていく姿にはとても感動しました。一部の報道によって知ったのですが、長嶋監督と14年前に他界された奥様との出会いは、57年前の東京オリンピックでコンパニオンをされていた奥様に、監督が一目惚れして一緒になった様です。また、開催前に長嶋監督は親しい関係者に対して「医者にもう歩けない、寝たきりだと言われても、オレはやるんだ」と宣言していて、奥様との出会いも含めてオリンピックの開催に対しては強い意欲を持っていた様です。

# WEEKLY REPORT

さて、来月は会員増強月間となります。そこで私の大好きな言葉を一つご紹介します。「金が無いから何も出来ないという人間は、金があっても何も出来ない人間である」これは阪急グループの創業者である小林一三が残した名言です。ロータリーの会員増強や奉仕活動においても、この言葉の通り、コロナだから何も出来ないという人はコロナじゃなくても何も出来ないのではないかと思います。「金が無くても出来る事」「コロナであっても出来る事」を考えて、実行することが大切です。そして、何事も諦めずに長嶋監督のように「オレはやるんだ」という強い意志を持って望めば、きっと良い結果が出るのではないのでしょうか？コロナ禍の中、北クラブの底力が試されている様な感じがいたします。以上、ご挨拶とさせていただきます。

## ＜幹事報告＞野澤幹事 国際ロータリー人頭分担金拠出の請求

7-12月分1人当たり \$ 35

専修大学松戸甲子園出場ご支援の御礼



## ＜ロータリー財団委員長就任挨拶＞



本年度ロータリー財団委員長を仰せつかりました小椋です。まだロータリークラブに入会し2年も経ってない若輩者の私が委員長で皆様心配だと思いますが、副委員長にはロータリー歴48年と3か月の浅野会員、委員には36年と10か月の小林弘会員の大先輩がついていますので安心してください。本年度はこの3名で活動してまいりますので宜しくお願い致します。そして前ロータリー財団委員長の並木会員にも委員長としての心構えなどを、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

活動計画としては、引き続きポリオの撲滅に協力、ロータリー財団月間には財団の重要性を深めていただくと共に、年次寄付について会員1人100ドルの寄付にご協力をお願い致します。その他に会長・幹事・各奉仕委員会と連携し地区補助金申請など、または来年度に繋がる準備をしていきたいと思っております。

ここ最近ではコロナ感染者がとても増加していますが、早くコロナウィルスが終息し、本来の例会・委員会活動ができること願って就任挨拶とさせていただきます。一年間宜しくお願い致します。

今年度、会員増強に力を入れるにあたり本を1冊、紹介しようと持ってきたのですが、会員増強・職業分類委員会、副委員長の鈴木会員が先ほど紹介したのと同じ「ロータリークラブに入ろう！」でしたので内容は割愛させていただきます。ロータリーに入りたての私にはロータリークラブとは何か。勉強になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

